

エ. 話しあいのすすめ方

- ④ 分科会 1会場4部会
協議会 実践活動のすすめ方
- ⑤ 全体会 分科会報告 全体討議
- ⑥ レクリエーション 歌と室内ゲーム

以上の内容によって研究部会・全体会を実施した。

(4) 効果

本年度は各種団体のリーダーを対象として開催されてから5年目にあたる。県下4会場において開催したが、各会場とも参加希望者が多く盛会であった。

各種団体の相互理解のうえにたって団体活動が協力のもとに展開され、地域社会発展の上に役にたっていると思われる。特に今年度実施した講義は事後の運営・活動に役にたつと好評であった。

5 婦人の国内研修

(1) 目的

県内の婦人団体、および婦人教育関係者を北海道に派遣し、都市およびその周辺地域における婦人に関する教育・文化・産業・生活・団体活動について実施視察・研究調査を行なうとともに、その地域の婦人との交歓を行なうことにより、社会的視野をひろめ、郷土社会の振興に役だつ知識・技能を修得し、もって婦人の資質の向上ならびに明るい社会の建設に寄与する。

(2) 期日、派遣地

昭和42年8月21日から27日まで(6泊7日) 北海道

(3) 参加者

10名(うち引卒者1名)

(4) 視察調査地ならびに研修内容

調査地	内 容
函館市	・函館市婦人学級生との交歓(都市における婦人の学習) ・函館市内社会教育施設見学
伊達町	・伊達町婦人団体連絡協議会との交歓(都市近郊農村の婦人団体活動)
室蘭市	・伊達町社会教育施設見学(開拓記念館) ・室蘭市婦人学級生との交歓(都市における婦人の学習活動) ・日本製綱所室蘭製作所見学
恵庭町	・恵庭町婦人学級生との交歓(都市近郊市街地の婦人活動) ・札幌市婦人学級生との交歓(都市における婦人の学習)
札幌市	・札幌市婦人学級生との交歓(都市における婦人の学習) ・北海道婦人団体連絡協議会幹部との交歓(北海道の婦人団体活動) ・札幌市内見学

(5) 効果

北海道の社会教育行政者および婦人教育関係者との交歓、共同研究により、研修参加者のもつ研究テーマの究明に得るところが多かった。

都市における婦人会活動・婦人会館活動については、特に得るところが多かった。研修終了後参加者はいろいろの機会に発表、実践活動に生かし、地域の婦人教育におよぼ

している効果はきわめて大きい。

6 婦人学級生大会

(1) 趣 旨

県下各方部の婦人学級代表が一堂に会し、婦人学級の運営・学習活動・学習内容等の状況について、発表・交歓を行ない、当面する諸問題について研究協議し、学習効果の向上をはかり、婦人教育の振興に資する。

(2) 期 日

12月12日(火)～13日(水) 1泊2日

(3) 会 場

国立磐梯青年の家(猪苗代町五輪原)

(4) 参加者数

婦人学級生・引卒者 370名

(5) 内 容

① 研究協議題

ア. 研究主題

婦人学級の学習内容を深め学習効果を高めるには、どうすればよいか。

イ. 研究部会

第1部会 A 学級運営を中心として

B "

C "

第2部会 A 学習内容を中心として

B "

C "

D "

第3部会 A 学習方法を中心として

B "

C "

② 研究協議の方法

ア. 講演 「婦人の学習について」

イ. 体験発表 文部省委嘱婦人学級・県実験婦人学級より8名。

ウ. 研究部会構成 3部会 10室

エ. 他県婦人学級視察報告 1名

オ. ヨーロッパ視察報告 1名

カ. レクリエーション。 歌唱、キャンドルサービス

キ. 研究部会の報告

ク. ま と め

(6) 効果

従来県下3方部にわけて実施されていた学級生大会を本年度は1会場で開催実施した。各方部に、それぞれの特色があったが全県同一会場に集まることにより、参加者の話し合いが活発になり効果的であった。

参加者は過去において、この大会に参加したことのない者を対象としたので、意欲的な態度がみられ効果的であったと思われる。